



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日  
上場取引所 東

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社  
 コード番号 8129 URL <https://www.tohohd.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役会長 CEO (氏名)濱田 矩男  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 広報・IR室長 (氏名)河村 真  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	634,050	6.8	7,920	64.9	10,951	42.9	7,121	44.1
2019年3月期第2四半期	593,635	△0.4	4,804	△12.0	7,664	△8.8	4,943	△3.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 4,650百万円 (△68.5%) 2019年3月期第2四半期 14,765百万円 (137.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	104.37	91.28
2019年3月期第2四半期	73.34	63.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	649,443	222,132	34.2
2019年3月期	663,727	213,848	32.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 221,963百万円 2019年3月期 213,680百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期第2四半期配当金の内訳 記念配当 5円00銭 普通配当 15円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,267,000	3.7	17,100	8.3	24,000	11.9	15,200	9.6	219.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	78,270,142株	2019年3月期	78,270,142株
2020年3月期2Q	8,008,134株	2019年3月期	10,120,311株
2020年3月期2Q	68,237,987株	2019年3月期2Q	67,406,951株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における医療用医薬品市場は、ジェネリック医薬品の使用促進をはじめとする医療費抑制策の影響があったものの、新薬の伸長に加え、2019年10月1日に施行されました消費税率引き上げに伴う薬価改定による駆け込み需要の影響もありプラス成長となりました。当社においても、がん治療薬などの新薬、スペシャリティ医薬品、稀少疾病用医薬品の売上の伸長や顧客支援システムの拡大等により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも期初計画を大きく上回る結果となりました。

当社グループは、医療・健康・介護に携わる企業集団として、患者様や医療機関が抱える課題を解決する顧客支援システムの開発・提案や地域包括ケアシステム構築への貢献など幅広い分野で存在価値を発揮する付加価値サービス型ビジネスモデルへの変革をグループ一体となって推進しております。また、物流の高機能化、配送回数の最適化、共創未来ファーマ製品によるジェネリック医薬品の集約化など収益性の向上のための施策にも取り組んでおります。

共創未来ファーマ製品については、今年6月に1成分4品目、9月に1成分2品目を新たに発売するなど、引き続き、高品質・高付加価値のジェネリック医薬品の安定供給とともに製品ラインナップの拡充につとめ、2019年9月末時点での販売製品は75成分162品目となっております。

当第2四半期の連結業績は、売上高634,050百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益7,920百万円（前年同期比64.9%増）、経常利益10,951百万円（前年同期比42.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,121百万円（前年同期比44.1%増）となりました。通期業績予想に対する進捗率は、売上高51.8%、営業利益52.8%、経常利益50.2%、親会社株主に帰属する四半期純利益52.4%となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業においては、引き続き、個々の製品価値に見合った単品単価交渉に努めるとともに、初診受付サービスや、ENIF本部、ENIFvoice Core、Core-POSをはじめとする当社独自の顧客支援システムの普及促進に取り組みました。また、最適配送回数の実現に向けた施策の推進や薬局共創未来の会員との関係強化に取り組むなど事業基盤の強化にも努めました。加えて、消費税率引き上げに伴う薬価改定による駆け込み需要の影響等もあり、当第2四半期の医薬品卸売事業の売上高は609,955百万円（前年同期比6.8%増）、セグメント利益（営業利益）は8,115百万円（前年同期比47.6%増）となりました。

調剤薬局事業においては、調剤報酬改定への対応を引き続き進めるとともに、ENIFvoice SP+AやENIFvoice Core、ENIF本部などの顧客支援システムの活用による店舗業務の効率化や標準化による収益性の改善に取り組みました。また、薬局の機能変化に向けた施策として研修制度のさらなる充実も図っております。その結果、売上高は47,714百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益（営業利益）は1,358百万円（前年同期比573.5%増）となりました。

治験施設支援事業においては、売上高は129百万円（前年同期比13.8%減）、セグメント利益（営業利益）は19百万円（前年同期比43.3%減）、情報機器販売事業においては、売上高は535百万円（前年同期比7.2%減）、セグメント損失（営業損失）は77百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、463,731百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が11,662百万円増加し、現金及び預金が18,226百万円、商品及び製品が6,247百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、185,712百万円となりました。これは、有形固定資産が5,172百万円増加し、投資有価証券が3,589百万円減少したこと等によります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、649,443百万円となりました。

#### （負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.2%減少し、379,338百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が16,595百万円、1年内償還予定の社債が4,615百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、47,972百万円となりました。これは、繰延税金負債が1,100百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.0%減少し、427,310百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し、222,132百万円となりました。これは、利益剰余金が6,099百万円増加し、自己株式が4,242百万円減少した一方、その他有価証券評価差額金が2,471百万円減少したこと等によります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較し18,189百万円減少しました。その結果、当第2四半期連結累計期間末の資金残高は57,192百万円(前年同期比26,469百万円減少)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、8,326百万円(営業活動によるキャッシュ・フローが前年同期比19,971百万円減少)となりました。これは、資金増加要因として、税金等調整前四半期純利益10,808百万円を計上、減価償却費2,711百万円、たな卸資産の減少額6,247百万円がありました。資金減少要因として、売上債権の増加額11,644百万円、仕入債務の減少額16,602百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、7,892百万円(投資活動によるキャッシュ・フローが前年同期比5,540百万円減少)となりました。これは、資金減少要因として、有形固定資産の取得による支出7,810百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、1,969百万円(財務活動によるキャッシュ・フローが前年同期比12,093百万円減少)となりました。これは、資金減少要因として、ファイナンス・リース債務の返済による支出810百万円、配当金の支払額1,022百万円があったこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向および今後の見通し等を勘案し、2019年5月9日に公表しました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2019年11月7日)公表しております「2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	79,607	61,381
受取手形及び売掛金	287,205	298,868
商品及び製品	78,590	72,343
その他	34,233	31,351
貸倒引当金	△209	△213
流動資産合計	479,427	463,731
固定資産		
有形固定資産	89,095	94,267
無形固定資産		
のれん	1,360	1,061
その他	2,620	2,540
無形固定資産合計	3,981	3,601
投資その他の資産		
投資有価証券	80,676	77,087
その他	13,080	13,245
貸倒引当金	△2,533	△2,489
投資その他の資産合計	91,222	87,843
固定資産合計	184,299	185,712
資産合計	663,727	649,443

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	374,322	357,727
短期借入金	586	561
1年内償還予定の社債	7,955	3,340
未払法人税等	4,204	3,953
賞与引当金	3,428	3,535
役員賞与引当金	71	35
返品調整引当金	349	357
資産除去債務	25	55
その他	9,321	9,771
流動負債合計	400,265	379,338
固定負債		
社債	20,083	20,073
長期借入金	5,594	5,483
退職給付に係る負債	1,986	2,012
資産除去債務	1,094	1,128
負ののれん	7	2
その他	20,845	19,272
固定負債合計	49,612	47,972
負債合計	449,878	427,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	48,566	48,978
利益剰余金	151,943	158,042
自己株式	△20,257	△16,014
株主資本合計	190,902	201,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,285	24,814
土地再評価差額金	△4,507	△4,507
その他の包括利益累計額合計	22,777	20,306
新株予約権	168	168
純資産合計	213,848	222,132
負債純資産合計	663,727	649,443

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	593,635	634,050
売上原価	541,252	577,290
売上総利益	52,383	56,760
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	20,723	20,992
賞与引当金繰入額	3,594	3,514
役員賞与引当金繰入額	34	35
退職給付費用	116	119
福利厚生費	3,957	4,038
車両費	598	554
貸倒引当金繰入額	△58	△10
減価償却費	2,077	2,711
のれん償却額	827	328
賃借料	3,551	3,749
租税公課	869	1,145
仮払消費税の未控除費用	2,553	2,606
その他	8,733	9,052
販売費及び一般管理費合計	47,578	48,839
営業利益	4,804	7,920
営業外収益		
受取利息	40	40
受取配当金	765	760
受取手数料	1,549	1,636
負ののれん償却額	10	4
持分法による投資利益	22	29
その他	755	735
営業外収益合計	3,144	3,207
営業外費用		
支払利息	15	15
不動産賃貸費用	136	131
その他	132	30
営業外費用合計	283	177
経常利益	7,664	10,951



(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	16	12
投資有価証券売却益	0	63
その他	1	14
特別利益合計	18	89
特別損失		
固定資産処分損	33	42
減損損失	35	107
関係会社株式評価損	-	53
その他	0	29
特別損失合計	69	232
税金等調整前四半期純利益	7,613	10,808
法人税、住民税及び事業税	2,968	3,943
法人税等調整額	△298	△256
法人税等合計	2,669	3,686
四半期純利益	4,943	7,121
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,943	7,121

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	4,943	7,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,739	△2,458
持分法適用会社に対する持分相当額	81	△12
その他の包括利益合計	9,821	△2,471
四半期包括利益	14,765	4,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,765	4,650
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,613	10,808
減価償却費	2,077	2,711
減損損失	35	107
のれん償却額	827	328
負ののれん償却額	△10	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	49	25
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△27	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	74	106
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△34	△35
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△70	△40
受取利息及び受取配当金	△806	△800
支払利息	15	15
固定資産除売却損益(△は益)	17	30
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△0	△47
売上債権の増減額(△は増加)	11,911	△11,644
たな卸資産の増減額(△は増加)	502	6,247
その他の資産の増減額(△は増加)	3,900	1,493
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,783	△16,602
その他の負債の増減額(△は減少)	△357	△1,129
未払消費税等の増減額(△は減少)	△128	1,454
その他の損益(△は益)	△1,913	△2,013
小計	13,891	△8,980
利息及び配当金の受取額	795	790
利息の支払額	△39	△29
法人税等の支払額	△5,228	△2,272
その他	2,225	2,164
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,644	△8,326

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△642	△696
定期預金の払戻による収入	641	733
有形固定資産の取得による支出	△746	△7,810
有形固定資産の売却による収入	117	184
無形固定資産の取得による支出	△523	△285
投資有価証券の取得による支出	△356	△157
投資有価証券の売却及び償還による収入	1	213
関係会社株式の取得による支出	△431	△5
関係会社株式の売却による収入	-	46
資産除去債務の履行による支出	-	△2
貸付けによる支出	△186	△188
貸付金の回収による収入	51	60
その他	△275	16
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,351</b>	<b>△7,892</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△139	36
長期借入金の返済による支出	△484	△172
社債の発行による収入	20,100	-
自己株式の取得による支出	△7,377	△1
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△946	△810
配当金の支払額	△1,027	△1,022
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>10,123</b>	<b>△1,969</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	19,416	△18,189
現金及び現金同等物の期首残高	63,671	75,382
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	573	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,662	57,192

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	547,794	45,252	150	438	593,635	—	593,635
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	23,448	175	—	138	23,762	△23,762	—
計	571,243	45,427	150	577	617,398	△23,762	593,635
セグメント利益又は損失(△)	5,498	201	33	△46	5,686	△882	4,804

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	585,968	47,567	129	385	634,050	—	634,050
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	23,986	146	—	150	24,283	△24,283	—
計	609,955	47,714	129	535	658,334	△24,283	634,050
セグメント利益又は損失(△)	8,115	1,358	19	△77	9,415	△1,494	7,920

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。